

MHD (エムエイチデー)
<http://www.makehumandream.jp>

身体に障がいや難病を持つ方でも、
 身体機能を補完できる道具があれば、
 もともと持っている力を十分に発揮できる。
 ご本人やかかわる人たちの要望をしっかりと聞き、
 納得いくまでフィッティングを重ねてつくられる
 オーダーメイドの福祉用具。



会社概要

所在地：宮崎県宮崎市大字小松 2643-3
 業種：福祉用具製造販売業
 創業：2014年6月
 従業員数：1名



Point of note

■ 座位保持装置とは
 ケガや病気によって、座る姿勢を保つことが難しい障がい者に対して、生理機能の向上や、変形・硬縮の予防・矯正、日常生活の動きを改善する目的で利用されるのが、座位保持装置。綿密なカウンセリングと丁寧なシミュレーションで、ご本人の様子を確認しながらオーダーメイドで製作する。



女性目線の提案を行いつつ、細やかな心配りをしながら製作する会社は、宮崎県内では数少ない。



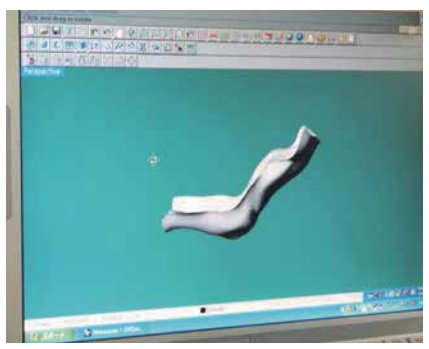
採型機で型取りした後、細かなデータを取る。



採型は、医療関係者にも確認しながら使い勝手を確認。



手掛けた座位保持装置は女性目線で配慮がこまやか。



取った採型データをすぐに、材料の仕入れ先へ。

「身体が不自由な方々の持っている力を十分に発揮できるよう、
 ものづくりの力でコーディネートしていきたい」

STEP1 創業のきっかけ
 新しい企画やアイデアなどを、
 生み出せる環境にしたい

宮崎県小松にある一軒屋で、座位保持装置や車椅子などの福祉用具を製造販売している時吉早苗さん。宮崎は出身地でも勤めていた会社があったわけでもない。納得できる仕事をするために、新天地で開業したのには熱い思いがあった。

福祉の仕事に携わる前は、家電メーカーに勤め、仕事も好きだったという時吉さん。しかし、母親がガンになり看病をするうちに、食事や呼吸ができることは当たり前のことではないと気づき、もともと人に近い仕事をやりたいと考えてようになったという。2006年に大阪府にある座位保持装置や車椅子などの福祉用具を製造販売する会社に入社。大阪と奈良エリアを担当し、一人ひとりの体に合わせた座位保持装置や車椅子づくりを通して多くの人にかかわってきた。しかし、あのお客様のひと言が、時吉さんを創業への道に進めさせた。

「福祉用具はなぜデザインを選択肢が少ないの？もし椅子がステキなら、『その車椅子がかわいいですね』と言われるだけでここにもいいんだという自尊心が芽生えてくる。そんなものをつくってほしい」

「採型機での型取りでは、もし自分だったらどう座りたいかを加えて、位置、形、生地も考えます。うまくいったときはご本人が笑顔になる。自分で良い椅子ができたと思っても、ご本人の顔色が赤くなり、嫌がったりするときもあります。そんなときは、納得するまで何度もやり直します」

大切なことは、ご本人がもともと持っている力を十分に発揮できる環境を、ものづくりというかたちでコーディネートし、フィッティングさせること。「もうこれぐらいいい」と言われることもあるが、お互いに納得ができるまで、付き合ってもらっているという。スムーズにいかなかったときや失敗などすべての経験は、次に活かすステップ。女性目線のこまやかさ、納得いくまでやり直しをする丁寧な仕事、口コミで伝わり少しずつ実を結び始めている。

STEP3 今後の展望
 新しいデザインや乳幼児用の椅子などいろいろなことに挑戦したい

座位保持装置や車椅子のデザイン性や、バリエーションを増やすのもやりたいことのひとつ。地方でもやり方によっては、良い材料を使いつつ価格を下げ、デザインや色など好みで選べ

さまざまなニーズに対応して提案製造できる恵まれた会社ではあったが、もう少しこうしたい、こんなものを試したいという状況をつくりたくて起業を決意。起業するならば、現在勤めている会社と商圏が重ならない九州でいたいと、出身地の北九州市のある福岡や鹿児島、宮崎を見てまわったなかでも、友人などの縁もあった宮崎で14年6月に開業した。

STEP2 事業スタート
 道具を使うご本人とかかわる方々の話を納得いくまで詳しく聞く

「道具や環境を整えることで、この方は座って食事ができる。背中中のライン、足の角度、ふくらはぎの位置などがちよつとしたことで、生活のしやすさが変わる。整えたい環境を採型機を使ってシミュレーションし、具現化するのが得意です」

呼吸具合や身体の安定するラインを見いだしつつ、起きる、寝るなどの状況も試し、パウダービーズの入った採型機の型を圧縮させ、シミュレーションしながら型取り。ご本人にやりたいことがある場合は、そのために必要な環境を考える。近い目標と長い目で見たい目標を立て、利用者ご本人やかかわる方々の話を聞き、一番楽になれる姿勢を見つけるのが時吉さん流だ。

「将来的には、障がいを持って生まれた子どもを育てているお母さんが、ネットで気軽に好きなデザインの車椅子や福祉用具を買い取りたい」
 座位保持装置や車椅子の製造・販売はもとより、乳幼児用の椅子の製作や、デザイン性の追求といった「機能+a」へのこだわりなど、時吉さんはこれからもいろいろなことに挑戦していきたいと意欲を燃やしている。

Profile

MHD (エムエイチデー) 代表 時吉早苗さん
 2006年から座位保持装置や車椅子を製造販売する会社で、経験を積む。デザイン性の高い福祉用具などに挑戦したいと、14年6月に、宮崎県小松で「MHD」を開業。